

若者世代が思い描く「2050年カーボンニュートラルが実現した福島県」
将来像イラストに反映された主な学生アイデア

A班（事業活動）【緩和策】

学生アイデア	背景や思いなど
● 再生可能エネルギーで全ての事業をまかなうオフィス	● 空調や照明など会社内のあらゆるものを再生可能エネルギーで賄っている
● 笑顔のあふれる職場	● 事業活動では「働き方の転換」が進められており、残業が多いと電気を使う上に、心身にも悪影響がある ● クリーンな会社経営がカーボンニュートラルにつながる

B班（交通・自動車）【緩和策】

学生アイデア	背景や思いなど
● 移動・運送における脱炭素化	● 電気自動車や水素自動車を身近に使用しており、水素ステーションも普及している ● シェアリングサービスが普及している
● 再配達が削減された社会	● 一家に一つ、郵便ポストのように宅配ボックスが設置されている

C班（建築物）【緩和策】

学生アイデア	背景や思いなど
● 快適な暮らしができる福島県	● エネルギーをなるべく使わずに室内温度が快適に保たれる住宅 ● 冷房・暖房の使用頻度を減らすことができれば、エネルギーだけではなくコストの削減にもつながる
● あらゆる建築物が木造化・木質化	● 二酸化炭素を貯蔵した木材を利用してカーボンニュートラルに貢献する ● 木材利用は、ストレス軽減や集中力の向上など心理面にも良い効果がある ● 伝統的な建築物とも共存できると良い

D班（日常生活）【緩和策】

学生アイデア	背景や思いなど
● エシカルファッションを日常で着用	● 古着やアップサイクルなど、人や環境、社会にやさしいファッションが当たり前になっている

● マイバッグ、マイボトルを利用	● 日常生活の中でマイバッグ、マイボトルの活用などのちょっとした工夫が当たり前になっている
------------------	---

E班（ごみ、フロン類）【緩和策】

学生アイデア	背景や思いなど
● リサイクルが進んでいる社会	● 廃棄物を減らすため、分別は必須の取組である ● 身近なところにリサイクルできる場所がある
● 食品廃棄物等を活用した発電	● 最大限減らしても、どうしても出てしまう食品残渣等は、バイオマス発電に無駄なく活用する

F班（森林整備）【緩和策】

学生アイデア	背景や思いなど
● 夜になると自ら光を放つ森林	● 昼に太陽光を蓄えて、夜に発光する樹木が開発されて、省エネと吸収源対策を同時に実現する
● 整備された森林にいるロボット赤べこ	● 福島県といえば「赤べこ」 ● 未来感をロボットで表現し、自然と未来都市の共存のシンボルとする
● 宙に浮かびながら炭素を吸収する森林	● 風を利用して場所の移動が可能で、最適な場所で二酸化炭素の吸収が可能になる

G班（農林水産業）【適応策】

学生アイデア	背景や思いなど
● 気候変動に適応したさまざまな農作物が採れる福島県	● 福島県といえば「果物」 ● 気温が上昇しても下降しても農作物が栽培できる
● 海洋エネルギーを使う未来	● 波力などによる発電を実施する ● 漁船の動力も自然エネルギーや水素を利用する
● 海からの二酸化炭素排出抑制	● 海藻等を増やしてブルーカーボンにも貢献する

H班（自然災害・沿岸域）【適応策】

学生アイデア	背景や思いなど
● 堤防などの治水設備を起点として多くの人で賑わう風景	● 災害対策の設備を増やして、被害の軽減を図る

	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店やイベントスペース等も設置し、住民の憩いの場として活用する
<ul style="list-style-type: none"> ● 洪水等の災害による被害を最小限に抑えられる未来 	<ul style="list-style-type: none"> ● ダムや河川堤防などの設備が設置されている ● 街中でも、コンクリートやアスファルトの面積を減らし、植栽地を確保することで、地下への雨水の浸透を促す

I 班（健康）【適応策】

学生アイデア	背景や思いなど
<ul style="list-style-type: none"> ● 暑い日でも健康に運動やショッピングを楽しむことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 街中に緑を多く配置し、水辺エリアも設けるなど、熱中症リスクが軽減されている
<ul style="list-style-type: none"> ● 空気の澄んだ福島県 	<ul style="list-style-type: none"> ● 化石燃料に頼らず、都市全体が自然エネルギーを使用している